

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、技術文化に親しんでいます	施策 主管課	文化財課	施策主管 課長名	酒井宗孝
	施策No.	4	施策名	民俗芸能の伝承	施策の 目指す姿	民俗芸能への理解が深まり、伝承活動を活発に行っています	関係課名	大迫総合支所地域振興課		
	現状と課題	ユネスコ無形文化遺産に登録された早池峰神楽をはじめとして、伝統を誇る数多くの民俗芸能が各地域に伝承されていますが、少子高齢化による後継者不足により、民俗芸能の伝承が困難になりつつあります。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1) 民俗芸能の伝承支援

- 早池峰岳神楽講演会 平成28年5月1日 午前10時～午後3時 大迫郷土文化保存伝習館 入場者数200人
- みちのく神楽大会(共催) 平成28年6月26日 午前9時～午後4時 大迫交流活性化センター 出演15団体 入場者320人
- 花巻市郷土芸能鑑賞会 平成28年8月7日 午後12時～午後4時 花巻市文化会館大ホール 出演10団体 入場者数400人
- 全国神楽大会ハヤチネ2016(実行委員会に参加) 平成28年9月3・4日 午前9時～午後5時 愛宕山公園特設会場 出演21団体 入場者数3,300人
- 古民家活用郷土芸能鑑賞会 平成27年9月22日 午後1時～午後4時 市指定有形文化財熊谷家 出演4団体 入場者数80人
- 花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2016 平成28年11月27日 午後12時～午後3時30分 花巻市文化会館大ホール 出演9団体 入場者数600人

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
郷土芸能団体数	地域ぐるみで伝承・保存に努めることが重要であることより、地域で実際に郷土芸能伝承や保存活動している状況を表す指数	花巻市郷土芸能保存協議会、花巻地方神楽協会、花巻市文化団体協議会の加盟団体より把握する。	団体	目標値				96	96	96
				実績値	96	96	96	96	96	96
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「郷土芸能団体数」…【達成度a】</p> <p>保存会を中心とした地域の保存への取り組みや伝統芸能を継承する尽力によって、目標を達成している。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1-1	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	A	C
	早池峰岳神楽公演「一守り人 伝え人」を大迫郷土文化保存伝習館にて開催(入場者200人)。			
1-2	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	A	C
	花巻地方神楽協会との共催による「第35回みちのく神楽大会」を大迫交流活性化センターにて開催(出演15団体、入場者320人)。			
1-3	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	A	C
	「花巻市郷土芸能鑑賞会」を花巻市文化会館大ホールにて開催(出演10団体、入場者400人)。			
1-4	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	A	C
	「古民家活用郷土芸能鑑賞会」を花巻市指定有形文化財熊谷家にて開催(出演4団体、入場者80人)。			
1-5	民俗芸能伝承支援事業	文化財課	A	C
	「花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2016」を花巻市文化会館大ホールにて開催(出演9団体、入場者600人)。			
2	全国神楽大会開催事業	大迫地域振興課	A	C
	実行委員会に参加した「全国神楽大会ハヤチネ2016」を大迫愛宕山公園特設会場にて開催(出演21団体、入場者3,300人)。			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)
なし

(新たに取り組むべき事業はないか)
なし

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・市内各郷土芸能保存会が所属する団体間の横の繋がりが弱い
- ・郷土芸能保存会から道具代や衣装代、大会出演費について補助制度創設の要望がある。

(今後の方向性)

- ・花巻市郷土芸能保存協議会、花巻地方神楽協会や各地区芸術文化協会等の連絡体制を強化する。
- ・市内各郷土芸能団体の活動状況や後継者の有無、活動費用財源の状況、市教委に対する要望等を調査し、効果的な支援策を検討する。
- ・古民家活用事業として、神楽公演を年2回(主催1、貸会場1)行っている花巻市指定有形文化財「熊谷家」を活用し、事業の充実を図るとともに、より多様な活用策を検討する。
- ・民俗芸能公演会の集客を増やすため、市民へのPRに努める。